

RagChat

社内知識活用
AI アプリケーション

製品ご紹介資料

2025.9 -Ver.3-
<https://ragchat.jp/>

- 1. 会社概要
- 2. RagChat の特徴
- 3. 導入プロセス
- 4. 費用・料金
- Appendix 1. RAG(検索拡張生成)とは？
- Appendix 2. Amazon Bedrockとは？
- Appendix 3. モデル別 特徴・料金体系について
- Appendix 4. Amazon Bedrock ナレッジベースとは？
- Appendix 5. RagChat画面レイアウト
- Appendix 6. 利用方法(ユーザー登録手順、ユーザー登録承認手順、パスワード変更方法)

1. 会社概要



株式会社 協栄情報

URL

<https://cpinfo.jp/>

設立

2011年3月14日

住所

〒104-0033
東京都中央区新川1丁目28番24号
東京ダイヤビル4号館5階

TEL

03-6661-9858

資本金

100,000千円

従業員数

単体 329名

製品問合

<https://Ragchat.jp/#contact>

事業内容

- ・ ソフトウェアの設計・開発・検証・評価
- ・ パッケージ 開発・導入・保守・販売
- ・ AWS クラウドソリューション提供
- ・ 機械学習、生成AIを活用した、
システムの企画・開発および運用

認証・資格

- ・ AWS アドバンスド コンサルティングパートナー
- ・ AWS ソリューションプロバイダー(SPP)
- ・ AWS 500 APN Certification Distinction
- ・ AWS Well-Architectedパートナープログラム
- ・ Amazon EC2 for Microsoft Windows Server
デリバリーパートナー
- ・ AWS 公共部門パートナー(PSP)

2. RagChat の特徴(1/3)

RagChat とは

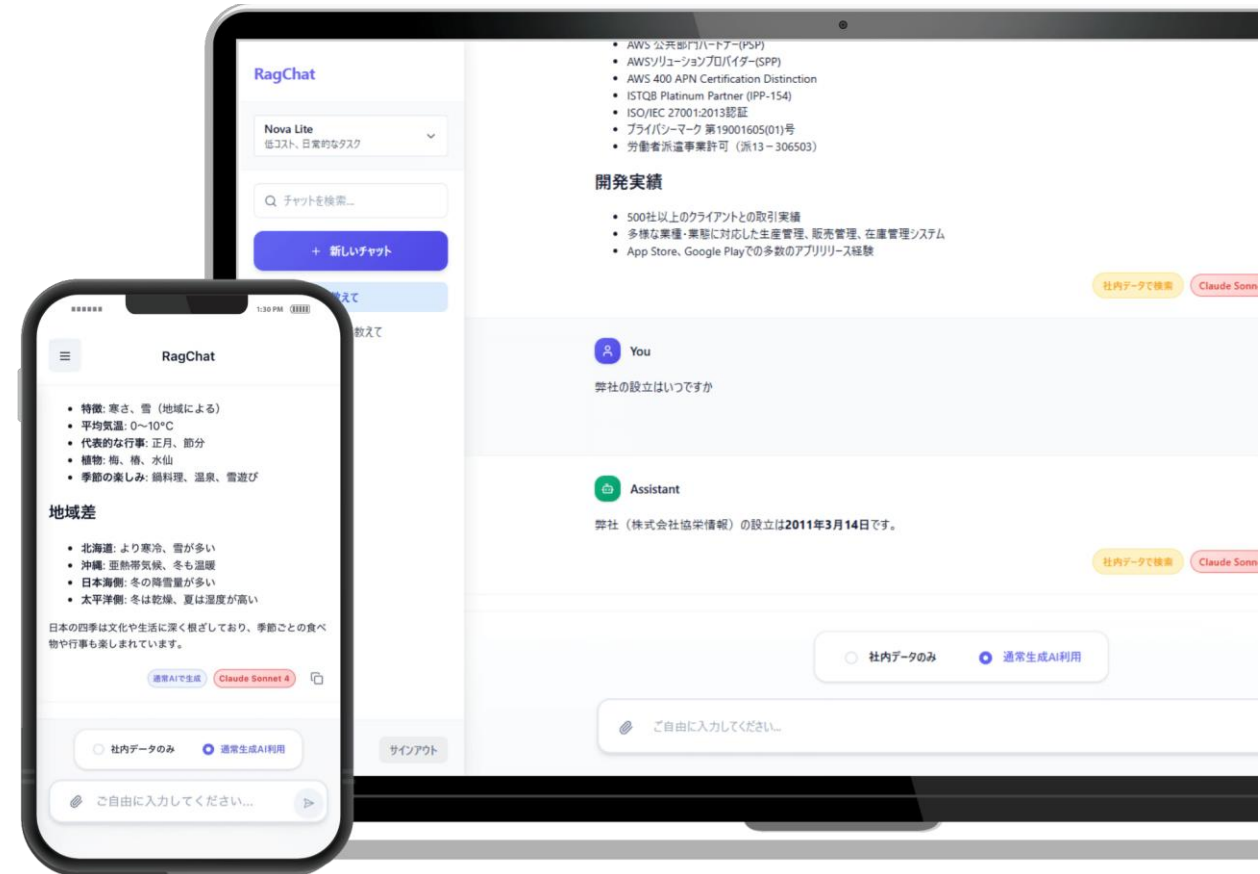
直感的な操作可能な**UI**設計と、
会社の積み重ねてきた**経験(ナレッジ)**が
生成**AI**を利用して、全社員で共有可能。
課題解決力向上の体験を提供します。

RagChat の主な特徴

- ・ シンプルな **UI**設計
- ・ 企業ごとのカスタマイズに対応
- ・ 複数の最新 **AI** モデルから最適選択
- ・ 安全な社内データ活用
- ・ 既存認証基盤との統合

RagChat

社内知識活用 AI アプリ



2. RagChat の特徴(2/3)

RagChat の活用場面

- 情報の属人化

特定社員に知識が偏りすぎて、
その人がいないと業務影響が出てしまう。

- 社内情報の検索

どこに何の資料があるのか分からず、
検索に時間がかかってしまう。

- 新入社員・引継ぎ 資料作成

通常業務の多忙さのため、
業務資料の作成が後回しになってしまう。

- 問い合わせへの対応

ユーザからの問い合わせに対して、
毎回同品質を担保した回答ができていない。



これら全ての課題を解決

RagChat
社内知識活用 AI アプリ

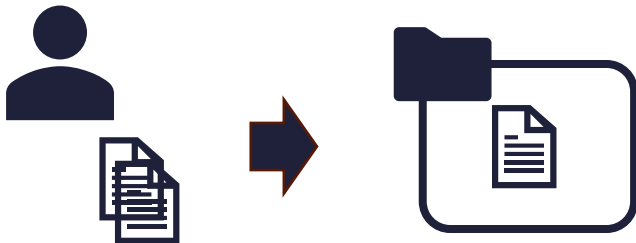
2. RagChat の特徴(3/3)

RagChat 利用イメージ

従業員からの問い合わせに対し、社内ナレッジを参照してAIが即座に回答。
ハルシネーション(=生成AIによる間違った回答)を抑制し、信頼性の高い情報を提供します。
利用方法は大きく2つのフェイズで構成されており、特別な訓練は必要としません。

1. ナレッジ追加

特定の場所にドキュメントを配置



共有したいナレッジ

2. ナレッジ利用

RagChatの画面から質問



3. 導入プロセス

- ・ お申し込みから最短 3週間で導入可能
- ・ 企業の抱える課題の整理 から 運用方法、保守運用まで継続的なサポート



4. 費用・料金

- ・ 要望ヒアリングは無料で、お客様環境に合わせた最適なプランをご提示します
- ・ 運用開始後の AWS利用料(生成AI利用分の料金等)は別途実費

初期導入費用

1,000,000円(税別)

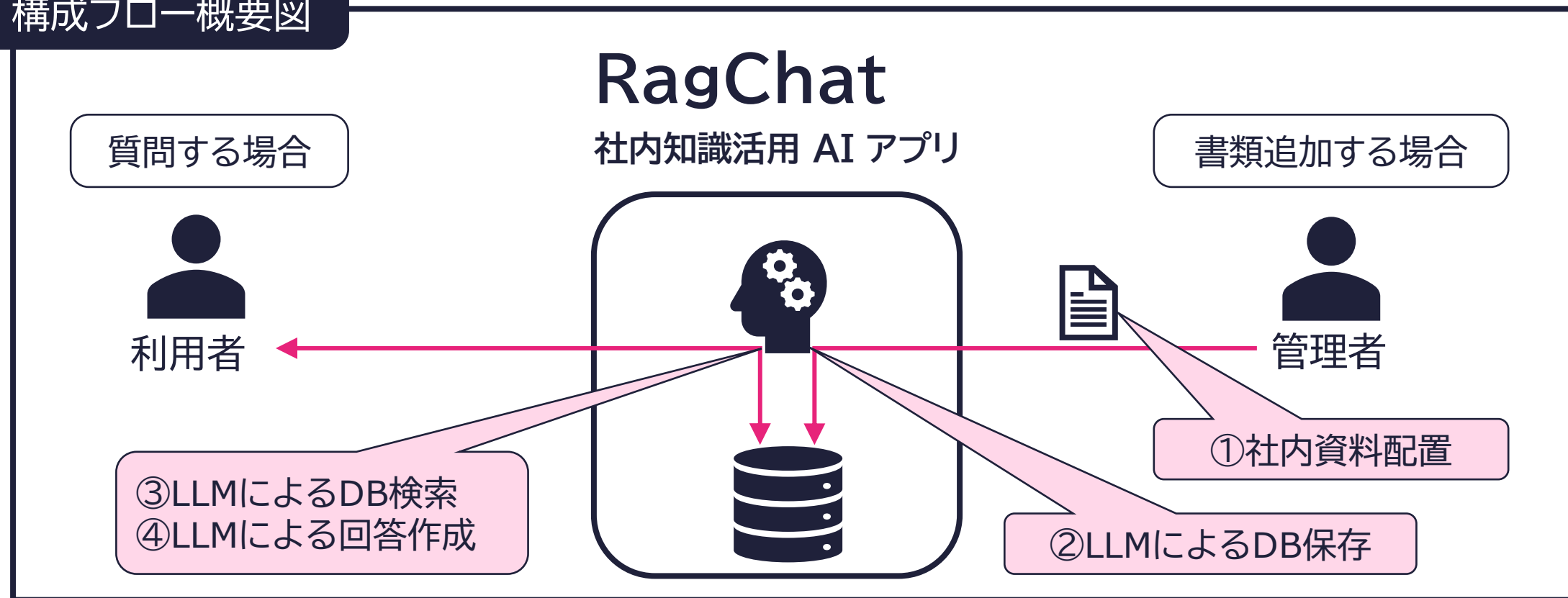
提供内容

- ・ 顧客クラウド環境構築
- ・ RagChat アプリケーション導入
- ・ 導入サポート
- ・ 運用開始サポート

Appendix 1.RAG(検索拡張生成)とは？

- ・Retrieval-Augmented Generation の略称です。
生成AIが回答を生成する際、貴社の情報ソースから関連する情報を検索・取得することで、ハルシネーション(=生成AIによる間違い)を抑止し、精度の高い回答をさせるための技術。

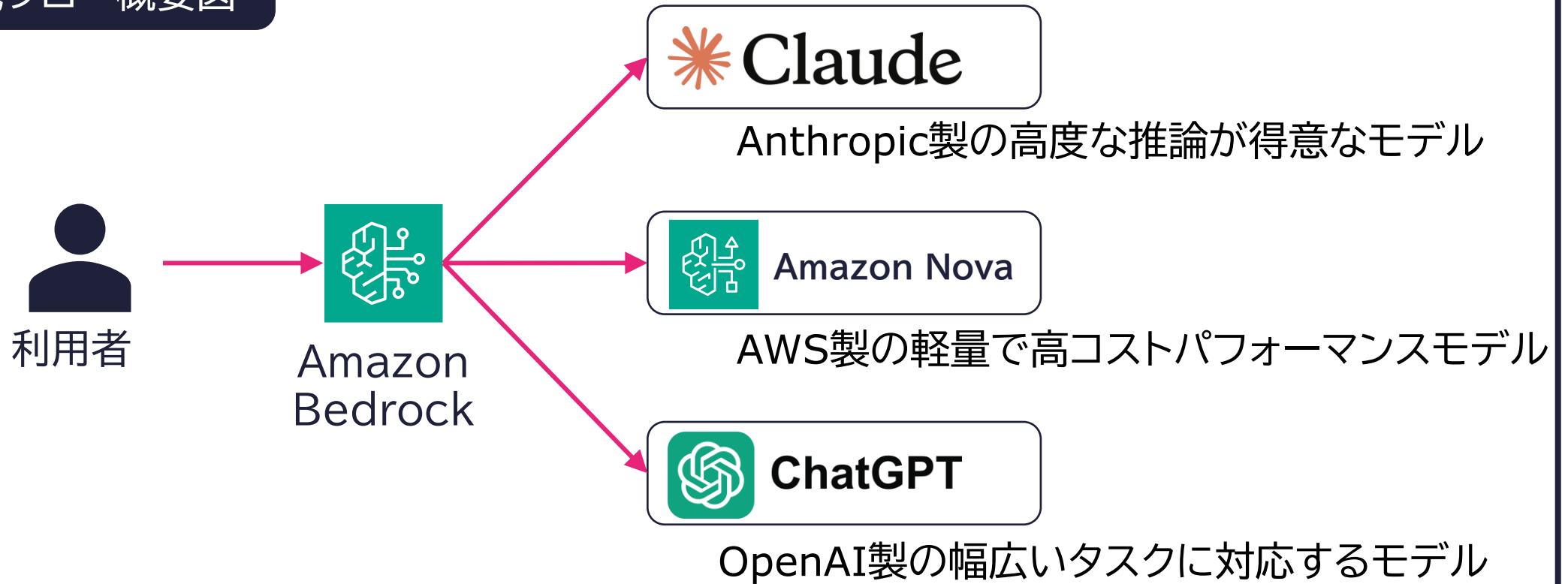
構成フロー概要図



Appendix 2. Amazon Bedrockとは？

- ・AWSが提供する生成AIサービスプラットフォームを指します。
Claude、Nova、GPTなど複数のAIモデルをAPIで安全に呼び出すことができます。
生成AIに対する権限の制御や、通信の暗号化によるセキュリティも確保されています。

構成フロー概要図



Appendix 3.モデル別 特徴・料金体系について



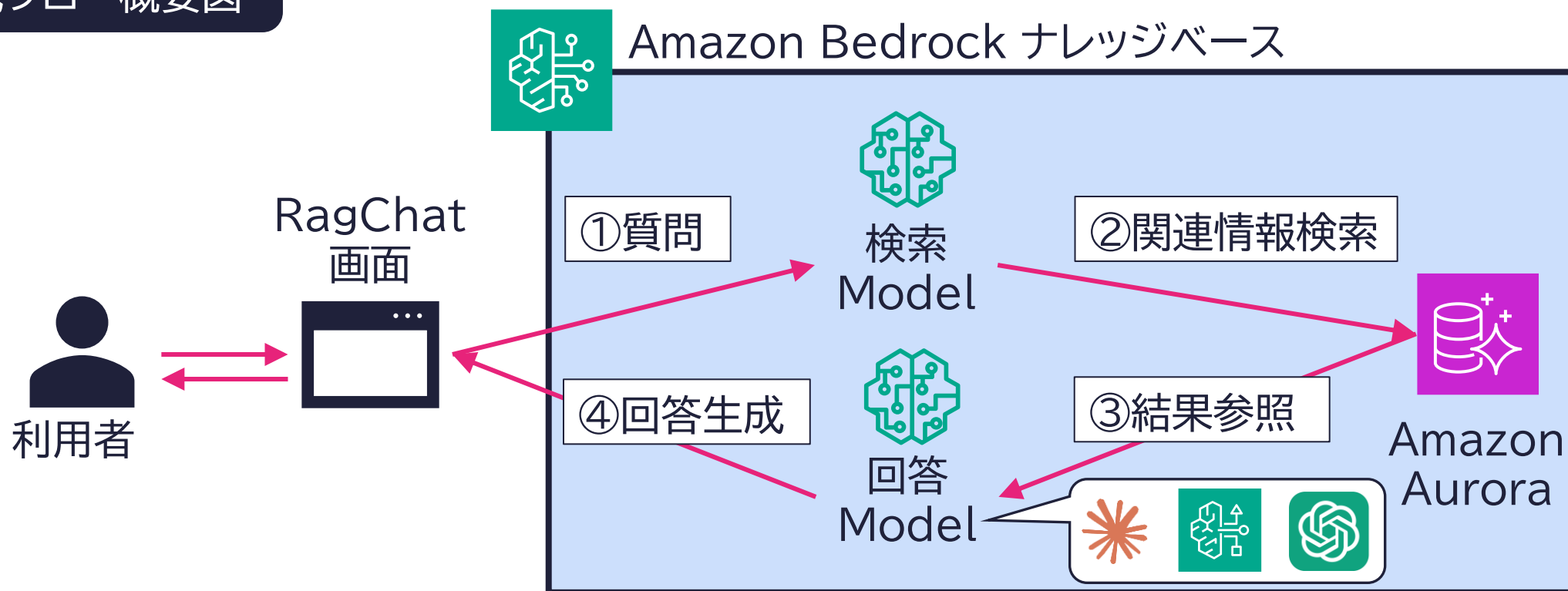
| モデル | 特徴 | 価格(1,000 入/出力トークン) |
|--|------------------------------|--|
|  Claude <ul style="list-style-type: none">・ 3.7 Sonnet・ Sonnet 4 | 高度推論・拡張思考対応 最新版・高性能推論特化 | ※東京リージョンでの料金 \$0.003(¥0.45) / \$0.015(¥2.25) \$0.003(¥0.45) / \$0.015(¥2.25) |
|  Amazon Nova <ul style="list-style-type: none">・ Nova Lite・ Nova Pro | 低コスト・マルチモーダル 高精度・速度・コスト最適 | ※東京リージョンでの料金 \$0.000072(¥0.01) / \$0.000288(¥0.04) \$0.00096 (¥0.14) / \$0.00384 (¥0.58) |
|  ChatGPT <ul style="list-style-type: none">・ gpt-oss-20b・ gpt-oss-120b | ChatGPT 軽量版 ChatGPT 高性能版 | ※オレゴンリージョンでの料金 \$0.00007 (¥0.01) / \$0.0003 (¥0.05) \$0.00015 (¥0.02) / \$0.0006 (¥0.09) |

※ 1USD = 150円換算として計算

Appendix 4. Amazon Bedrock ナレッジベースとは？

- ・AWSが提供する、RAG(検索拡張生成)を実現するフルマネージドサービスです。企業データを自動的にデータベースに格納し、質問時には関連情報を検索して根拠のある正確な回答を生成します。

構成フロー概要図

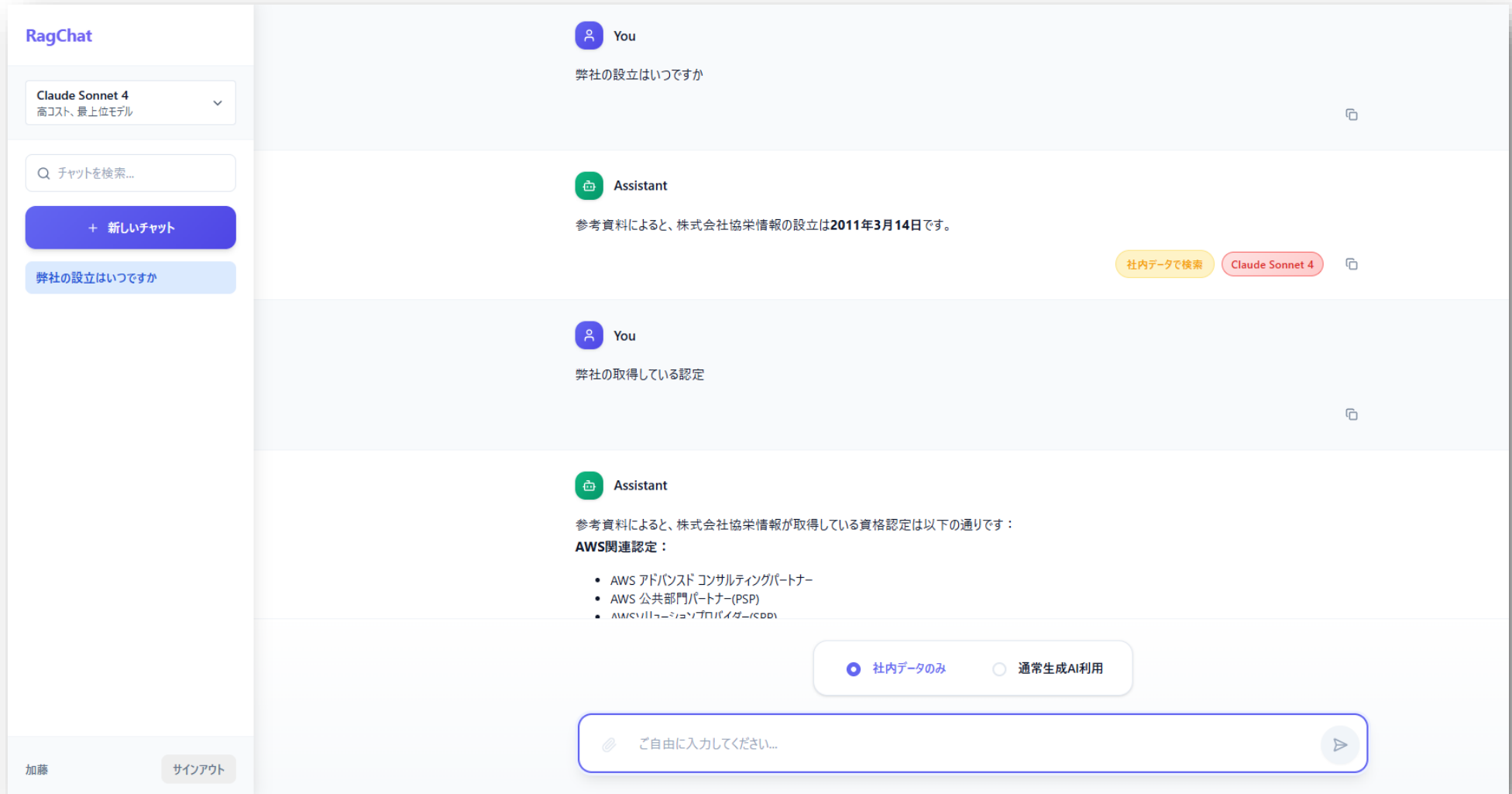


Appendix 5.RagChat画面レイアウト(1/3)

・PC版 レイアウト画面

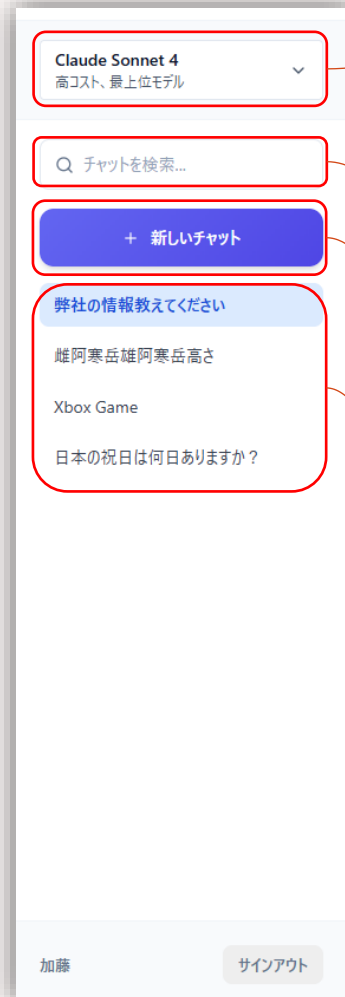
サイドバー画面

メイン画面



Appendix 5.RagChat画面レイアウト(2/3)

サイドバー画面(部分拡大) 詳細説明



モデル選択欄

複数モデルから選択が可能



The expanded view of the model selection dropdown menu shows a list of models with their respective descriptions and a scroll bar on the right. The models listed are: 'Nova Lite' (低コスト、日常的なタスク), 'Amazon Nova', 'Nova Lite' (低コスト、日常的なタスク), 'Nova Pro' (低コスト、複雑な推論タスク), 'Nova Canvas' (画像生成), 'Anthropic Claude', 'Claude 3.7 Sonnet' (中コスト、高度な推論能力), and 'Claude Sonnet 4' (高コスト、最上位モデル).

過去チャット検索機能

過去履歴のキーワード検索が可能

新規チャット作成

トピックごとに新規チャットが作成され、質問ごとの管理が可能

過去チャット一覧

過去のトピックタイトルが自動生成され、最近の履歴へ素早いアクセスが可能

Appendix 5.RagChat画面レイアウト(3/3)

メイン画面(部分拡大) 詳細説明



モード切替機能

「社内データ」を利用した検索をするのか、
「通常生成AI」のみを利用した検索にするのか選択可能

選択したモード / モデルの表示

「社内データ」か「通常生成AI」の利用モードが表示
その際、利用された生成AIモデルについても表示

プロンプト記入・送信ボタン

テキストによるプロンプト入力以外にも、
ドラッグアンドドロップでPDFや画像の添付が可能
回答生成中でも生成を停止させることも可能

Appendix 6. 利用方法(ユーザー:ユーザー登録手順)



[サインイン](#) [アカウントを作成](#)

ユーザー名 *

パスワード *

パスワード確認 *

メールアドレス *

[アカウントを作成](#)

手順1. 「アカウントを作成」画面で
ユーザー名、パスワード、
メールアドレスを入力

メールアドレス確認

登録されたメールアドレスに送信された
6桁の確認コードを入力してください。

ログインするには、メールに記載されたコードを入力してください。送信先:
k***@c***. 到着するまでに 1 分かかります。

確認コード *

[確認](#)

手順2. 設定済みメールアドレス宛に
送信された確認コードを入力

メールアドレス確認完了

アカウント申請を受け付けました

メールアドレスの確認が完了しました。
管理者による承認をお待ちください。

承認完了後、別途メールにてご連絡いたします

[ログイン画面に戻る](#)

手順3. 管理者によってアカウント
申請が承認後にサインイン可能

Appendix 6.利用方法(管理者:ユーザー登録承認手順)



新規ユーザー承認依頼

ユーザーがメールアドレス確認を完了しました

ユーザー名: test2

メールアドレス: kato.m@cpinfo.jp

確認完了日時: 2025/8/18 15:20:44

ステータス: 承認待ち

承認手順:

1. 下記の「ユーザー詳細画面を開く」ボタンをクリック
2. ユーザー詳細画面で「アクション」→「ユーザーアクセスを有効にする」を実行

※ユーザーは現在無効化状態のため、承認するまでログインできません

ユーザー詳細画面を開く

アクション ▲

ユーザーアクセスを有効にする

ユーザーをサインアウト

パスワードをリセット

MFA 設定の更新

アカウントの確認

ユーザーを削除

手順1. 新規ユーザー承認依頼メールの
「ユーザー詳細画面を開く」をクリック

手順2. 遷移先のAWS Cognitoコンソール画面で
「アクション」→「ユーザーアクセスを
有効にする」を選択する。
新規ユーザーのサインインが可能になる。

Appendix 6.利用方法(ユーザー:パスワード変更方法)



[サインイン](#) [アカウントを作成](#)

ユーザー名 *

パスワード *

[パスワードをお忘れの方](#)

パスワードのリセット

ユーザー名を入力してください

[サインインに戻る](#)

パスワードのリセット

Code *

新しいパスワード

パスワードを確認

[コードを再送](#)

手順1. サインイン画面で「パスワードをお忘れの方」をクリック

手順2. パスワードを変更したいアカウントのユーザー名を入力。登録済みメールアドレス宛にコードが送信される

手順3. コードと新しいパスワードを入力する。管理者による有効化の後、サインインが可能